

IoT Gateway for KEPServerEX®

IoT Gateway は、KEPServerEX 接続プラットフォームの機能を拡張するアドバンスド プラグインです。MES およびその他のシステムの Web サービスとの統合のための RESTful Web サーバーとなり、リアルタイムの産業データを直接、エンタープライズ全体のデバイス クラウドおよびビッグ データ解析プラットフォームにシームレスにストリーミングします。

IoT Gateway は、産業用モノのインターネット (IIoT) をサポートするために、運用と IT を結び付けます。これにより、意思決定者がデータを検索、モニタリング、分析、視覚化して、工場における運用をリアルタイムで把握できるようになります。その結果、エンタープライズ全体でシステムのセキュリティが高まり、カスタマー サービスが改善され、自動化が効率的になり、意思決定が向上します。

パフォーマンス

- リアルタイム データを KEPServerEX からモバイル、ビッグ データ、企業資産管理、アナリティクス ソフトウェア、IoT プラットフォームにストリーミング
- KEPServerEX 内の 150 を超えるドライバーを利用して、PLC、RTU、PAC、DAQ、コントローラなどの数千もの産業用センサーおよびマシンからデータを収集
- 4 種類のエージェントで、データを MQTT、HTTP/REST、ThingWorx® AlwaysOn™ プロトコル経由でストリーミング
- クライアント エージェントが JSON、XML、CSV、カスタム モデルなどの複数のデータ モデリング要件をサポートできるように、高度なメッセージ フォーマットを提供
- デッドバンド、データ配列の読み取りと書き込みのサポート、複数のエージェントおよびアプリケーションの同時接続、Cross Origin Resource Sharing (CORS) 制限、CSV タグのインポートおよびエクスポートなど、高度な機能を含む
- KEPServerEX 構成 API を介して、あらゆるエージェント タイプのサードパーティおよびリモートの構成を提供

サポート対象のインタフェース

- MQTT クライアント
- RESTful Web Services Server
- RESTful Web Services Client
- ThingWorx AlwaysOn

MQTT クライアント エージェントの機能

- MQTT バージョン 3.1.1 をサポート (パブリッシュおよびサブスクリプションのメソッドを含む)
- 複数のデータ モデル (JSON、XML、CSV、カスタム) の高度なフォーマットをサポート
- トランスポート レイヤー セキュリティ (TLS)、証明書ベースの認証、ユーザー名 / パスワードによる認証、遺言 (Last Will and Testament) 機能、サービス品質メッセージの提供など、MQTT セキュリティおよびデータ統合機能をサポート

REST クライアント エージェントの機能

- データを Web サーバーにパブリッシュするための HTTP PUT または POST メソッドを提供
- 複数のデータ モデル (JSON、XML、CSV、カスタム) の高度なフォーマットをサポート
- Secure Socket Layer (SSL)、カスタマイズ可能な HTTP ヘッダー、サーバー側のデータ受信確認、ユーザー名 / パスワードを介した基本認証など、HTTP セキュリティおよびデータ統合機能をサポート

REST サーバー エージェントの機能

- 直感的なドラッグアンドドロップ構成機能により、タグ URL を自動的に作成
- HTTP GET および POST メソッドのサポートにより、Web クライアントによる KEPServerEX 内で利用可能なあらゆるタグのブラウザと読み取り、タグへの書き込みが可能に
- Cross Origin Resource Sharing (CORS) 制限、Secure Socket Layer (SSL)、ユーザー名 / パスワードを介した基本認証など、HTTP セキュリティおよびデータ整合機能をサポート

ThingWorx Agent の機能

- ThingWorx IoT プラットフォームへのネイティブ AlwaysOn 接続に Java SDK を利用
- 別々の ThingWorx Agent にタグをグループ化してサーバー データをゲート処理し、ThingWorx IoT プラットフォームでアセットを容易にモデル化
- Secure Socket Layer (SSL) 証明書をサポートして、セキュリティを強化

サポート対象 OS

- Windows Server 2016
- Windows 10
- Windows Server 2012 R2 および 2012
- Windows 8
- Windows Server 2008 R2
- Windows 7 Ultimate、Enterprise、Professional

システム要件

- 2.0 GHz のプロセッサ
- 1 GB の内蔵 RAM
- 180 MB の使用可能なディスク容量
- イーサネット カード
- Super VGA (800 x 600) 以上の解像度のビデオ

ご利用いただける言語

- 英語

現在のバージョン

- 6

Kepware について

Kepware のソフトウェア ソリューションでは、多様なオートメーション デバイスとソフトウェア アプリケーションを結び付け、産業用モノのインターネットを実現できます。

Kepware の中核製品である KEPServerEX は、業界をリードする接続性プラットフォームです。OPC と IT 中心の通信プロトコルを活用し、お客様のすべてのアプリケーションに対して産業オートメーション データの一元的なソースを提供します。このプラットフォーム設計により、1 つの直感的なユーザー インタフェースで多様なオートメーション デバイスやソフトウェア アプリケーションを結び付け、管理、監視、制御することができます。

ビジネスにもたらされる価値

KEPServerEX は、企業が求めるグローバルな接続性、ユーザビリティ、パフォーマンスを提供します。高い競争力をもたらすそのメリットは、製造現場から IT 部門、幹部レベルまで、幅広い関係者が享受できます。

- ・ IoT 対応で、オンプレミスの Web サーバーとクラウドのアプリケーションを利用して製造業務に関するリアルタイムの分析データを利用可能
- ・ パブリックおよびプライベート クラウドに展開できるように、VMware や Hyper-V などの主流ハイパーバイザに対応
- ・ いつでもどこからでも製造現場の資産を把握できるように、IT アプリケーションと統合
- ・ SSL および TLS を介してメッセージングのセキュリティを強化することで、各種ネットワーク トポロジでの認証済み、暗号化済みの安全な通信を実現
- ・ サイトのセキュリティ要件を満たすための、進化したアプリケーションセキュリティ機能
- ・ サーバー、データ ソース、データ値に対する高度なアクセス制御
- ・ 重要なアプリケーションでの回復性、高い信頼性、稼働時間を確保するための複数の冗長オプション
- ・ 拡張性の高い統合アーキテクチャにより、ドライバーを組み合わせることで単一サーバーで複数のプロトコルを使用する柔軟性を実現
- ・ シンプルなインストール、構成、メンテナンス、トラブルシューティングを可能にする合理的なインタフェース

詳細については、Kepware の Web サイトをご覧ください。こちらで、完全版のデモ用ソフトウェアを無料でダウンロードしていただくこともできます。

サポート

Kepware では、ご購入前のご相談を承っており、ご購入からアップグレード、トラブルシューティングに至るまでお客様をサポートする包括的なサービス プランをご提供いたします。詳細は Kepware の営業チームまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

電話番号 : +1 888-KEPWARE (537-9273) x208

電子メール : sales@kepware.com



Kepware は、メイン州ポートランドを拠点とする、PTC Inc. 傘下のソフトウェア開発会社です。企業が多様なオートメーション デバイスとソフトウェア アプリケーションを結び付け、産業用モノのインターネットを実現できるよう、各種ソフトウェア ソリューションを提供しています。製造工場から坑井現場、風力発電所まで、製造、石油ガス、ビル オートメーション、電力など、さまざまな業種の幅広いお客様を支援しています。1995 年に設立され、今では 100 カ国以上に製品を提供している Kepware のソフトウェア ソリューションは、何千もの企業が運営と意志決定を改善するお手伝いをしています。

© 2017, PTC Inc. (PTC) All rights reserved. ここに記載された情報は情報提供のみを目的としており、事前の通知なしに変更される可能性があります。また、PTC が保証、約束、提案を行うものではありません。PTC、PTC ロゴ、およびすべての PTC の製品名およびロゴは、米国およびその他の国における PTC またはその子会社、あるいはその両方の商標または登録商標です。その他の製品名または企業名はすべて、各所有者の商標または登録商標です。新製品や新機能のリリース時期は予告なく変更されることがあります。

iotgw-ds-05-2017_JA